



検査だより、刷新！ 技師長 堀田多恵子

創刊より春秋が廻り、26周年を迎えました。

私達は「きちんと検査依頼を受け取る」「精確に分析する」「わかり易く報告する」ことについて、いつも改善に取り組んでおります。広報誌についても臨床検査の紹介と皆さまのお役に立てるようにわかり易く、読みやすく発信してまいりたいと考えております。

今号からは病理診断科・病理部の広報も担います。より広い領域の臨床検査をカバーしてお伝えすべき情報をわかり易くお伝えできるように、紙面の充実を図ってまいりたいと存じます。これからもご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

血液ガス分析装置RapidPoint500における 「ヒドロキソコバラミンの干渉」

南棟2階、検査部に設置している血液ガス分析装置RapidPoint500で測定される特定の項目で、医薬品であるヒドロキソコバラミンの干渉を受けることが判明しました。

干渉を受ける項目と影響の程度

測定項目	期待値	ヒドロキソコバラミン1mg/mL 添加時の回収率	ヒドロキソコバラミン2mg/mL 添加時の回収率
COHb	20%	15%	10%
MetHb	20%	17%	13%
tHb	12 g/dL	11.4 g/dL	10.8 g/dL

ヒドロキソコバラミン酢酸塩の添付文書に用法容量について、通常成人1回1管(ヒドロキソコバラミンとして1000 μg)までを筋肉注射又は静脈注射すると記載されています。「干渉を受ける項目と影響の程度」の表のヒドロキソコバラミン添加量(1 mg/mL、2 mg/mL)は通常量より高濃度であるため、通常の使用量ではほぼ影響はないことが予測されます。

検査部 化学検査室 内線5756

《今号の紙面》

技師長より挨拶、化学よりお知らせ……p.1

病理部よりお知らせ……p.2

鉄分検査室……p.3

受付・外注部署よりお知らせ、編集後記……p.4



病理部より 検査中止のお知らせ

平成30年9月末をもちまして、下記項目の病理検体遺伝子検査(外部委託)を中止させていただきます。

●検査中止項目

RAS遺伝子変異解析



●最終受付日/代替検査

平成30年9月28日(金)

代替検査と致しまして下記のRAS-BRAF遺伝子変異解析をご利用ください。

検査項目名	RAS-BRAF遺伝子解析
検体量	未染スライド 5枚(5~10 μm厚)
容器	Z10(t)オブジェクトケース
保存方法	室温保存
所要日数	4~7日
検査方法	PCR-rSSO法
基準値	なし
検査実施料	4000点(D004-2「1」悪性腫瘍組織検査(注イ)包括2項目)
判断料	34点(尿・糞便等検査判断料)
備考	<p>*HE染色を行い腫瘍細胞が含まれていることが確認できた切片と連続切片(未染スライド)をご提出ください。</p> <p>*腫瘍細胞の比率が少ない場合、より多い検体を選びご提出ください。</p> <p>*長時間ホルマリン固定した組織や、ホルマリン固定前に室温放置が長い検体は、DNAの断片化が著しく、解析不能となる場合があります。</p> <p>*切除不能な進行・再発の大腸癌患者における治療方針の決定として、4000点を算定できます(RAS遺伝子検査、BRAF遺伝子検査の2項目包括点数として)。</p> <p>*早期大腸癌におけるリンチ症候群の除外を目的に本検査を実施した場合は、BRAF遺伝子検査として2100点のみ算定できます。RAS遺伝子検査の所定点数を併せて算定することはできません。</p>

病理部 内線5854





「ふうせんリリースプロジェクト」ポスター

「平成29年7月九州北部豪雨」により久大本線の花月川橋梁が流出し日田・光岡(てるおか)間が不通になったままであった。7月14日新花月川橋梁が完成し、久大本線全線が1年ぶりに復旧した。

不通になっている間<ゆふいんの森>は、変則的に小倉経由で博多・湯布院間を往還していたが、再び本来の久留米経由の運行を始めた。

当日は、花月川橋梁で1年ぶりに花月川を渡河する<ゆふいんの森>を待った。日田盆地は九州内でも暑い場所として知られるが、その日は快晴でくらくらする猛暑となり脱水防止のためペットボトルをがぶ飲み。「ふうせんリリースプロジェクト」の実施地点が近くにあり、一斉に風船が青空へ舞い上がり<ゆふいんの森>がやってくる合図になってくれた。<ゆふいんの森>が花月川橋梁を駆け抜ける光景を見て久大本線全線復旧を祝した。

尚「ふうせんリリースプロジェクト」は、JR九州のhome pageで見える事ができる。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

久大本線全線復旧でJR九州管内の不通区間は、「平成28年熊本地震」で不通になっている豊肥本線肥後大津・阿蘇間と「平成29年7月九州北部豪雨」で不通となっている日田彦山線添田・夜明間の2区間となり明るい方向へ向かっていると喜んでいたら、平成最後の夏は波乱に満ちていた。

久大本線全線復旧1週間前に「平成30年7月豪雨」が日本列島を襲った。福岡、佐賀、長崎3県をはじめ過去最多となる11府県で「大雨特別警報」が発表された。

JR九州管内では、筑肥線、豊肥本線、肥薩線が不通になった。筑肥線、肥薩線は早期に復旧したが、筑豊本線上穂波・筑前山家(やまえ)間で道床流出がはなはだしく現在も桂川(けいせん)・原田(はるだ)間は不通のままである。

筑豊本線は若松・原田間66.1kmの線区であるが、全線通して走る列車はなく、若松・折尾間の通称若松線、折尾・桂川間の通称福北ゆたか線、桂川・原田間の通称原田線に3分割されている。東日本大震災では津波に襲われた多数の線区で不通区間が発生し現在も列車代行バスが活躍している。福岡都市圏で同じ光景を見るとは思いもよらなかったが、原田線に列車代行バスが現在運行されている。



原田駅と列車代行バス

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ところで平成最後の夏の災害は、「平成30年7月豪雨」で終わらなかった。

台風12号が襲来し、更に「北海道胆振東部地震」が発生し、日本列島全域に大災害が多発した。特に北海道では道内全域のブラックアウトが発生し、電源喪失で鉄道が止まるという事態にいたった。医療の面でも透析装置の運用などで危機的な局面を迎えた。

秋雨前線もこれまでの認識と異なり梅雨末期の豪雨と同様な様相を呈した。

これまで以上に大災害に対する対策を準備しておくことが求められる。

現在、当院検査部で対応している臨床検査には検査部で検査を実施している「院内検査」以外に外部業者に検査を委託している「外注検査」があります。当院では「外注検査」を特殊な検査設備を必要とする検査や、年間依頼数が少なくコストの問題などで院内実施が困難な検査を実施する目的で活用しています。

一般的に「外注検査」では院外の検査業者施設への検体搬送に伴い結果報告日数が長くなり、実施の有無に関わらず再検査分の検体を提出するため必要検体量が増加してしまいます。検体量に関しては1回検査分の最低量で提出することも可能ですが、再検査を実施できないため不確かな結果が報告される危険性があります。また万が一、検査に伴うトラブルなどが発生してしまった場合に「検査不能」となる可能性も発生してしまいます。

また、検査業者は効率化を図るとともに採算性を確保しながら依頼件数の少ない特殊な検査にも対応するため、各地から検体を集めて検査を実施しています。当院から提出された検体も他施設の検体と併せて航空便などで検査業者施設に搬送されます。当院からの検体回収が遅れてしまうと他施設の検体搬送にも影響が出てしまうため、原則、検体提出期限を17時までとさせていただきます。

検査部より検体量や提出時間などについて確認とお願いのご連絡をさせていただきますが、「外注検査」についてご理解いただき、ご協力頂きますようお願い致します。

「外注検査」に関してご不明な点やご要望などがございましたら、検査部受付(内線5771)で対応いたしますのでお問い合わせください。今後も適切な検査実施にご協力をお願い致します。

検査部 受付・外注部署 内線5771

編集後記

検査部では検査の質の向上、精確な検査測定、迅速な報告を行っていますがまだまだ改善点もあるかと思えます。日々改善して、よりAccurateな検査結果を報告していく所存です。日々といえば、「日日是好日」という雲門禪師の語があります。杏李さんの自宅にはこの掛け軸があり「今日も一日よい日でありますように」と呑気に解釈していたそうです。しかし、好日は願ってえられるものではなく、待つかなえられるものではない。自らの生き方に日々に好日を見出しえなければならぬと(玄海の承福寺住職「安らぎの禅語」より)。樹木希林の遺作にもなる映画「日日是好日」が封切られた。いろんな思いを日々の検査に生かしていきたいと思う今日この頃である。

内海健

